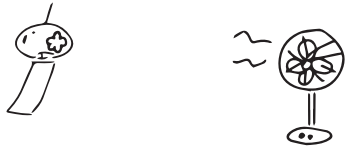


Youth
Manna

2021/6/28 - 7/4



さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。マルコ 1:35

2021/6/28(月)

II 歴代誌 6:1-21

ソロモンは遂に神殿を完成させ、イスラエルの全集団を祝福した(3節)。ソロモンも神様を「契約と愛とを守られる方(14節)」と表現しているが、神様は私達に約束して下さったことは必ず成し遂げられるお方であると、聖書は語っている(例えば、民数記 23:19)。

一方、私達にも、神様からの約束であるみことばが与えられているよね。けれども、みことばを信じられなくなっている部分はないだろうか? 時間がかかるかもしれない、遠回りなやり方かもしれない、けど神様は必ず成し遂げてくださることに期待できるよう祈ろう!

2021/6/29(火)

II 歴代誌 6:22-42

昨日に引き続きソロモンの祈りの箇所だね。ソロモンが祈ったのは、罪を犯した人が神殿で祈り願うなら赦して下さるよという祈りだった。人が罪を犯し得る様々な場面を思いとりなして祈っている姿を見ると「罪に陥らない人は一人もいない(36)」ことに改めて気付かされるね。

そして32-33節では、イスラエルだけでなく、異国人に対しても、同じようにして下さるよう祈っている。神様の前に祈り、赦しを求め、救いを与えられる機会がすべての民に対して開かれていることをソロモンは語ったよ。そしてイエス様は、その願いを確かに実現して下さったね。

ソロモンの祈りから今日あなたが学ぶ大切なことは何かな? 神様の前に、心を開いて、正直な気持ちで祈ろう!

2021/6/30(水)

II 歴代誌 7章

ソロモンの祈りに対して、天から火が下ってきた。それは神が彼らの祈りを受け入れて下さったことを示すものである。神からのはっきりとした応答は、祭りを終えて民が帰宅し、ソロモン自身も穏やかな夜を過ごした時に与えられた。その内容は、ソロモンが願ったことを受け止め、求めたとおりにするという約束である。6章で彼が祈ったことは神のみこころかなうことだったのである。神はこのようにみこころに沿って歩もうとしているソロモンに、豊かな祝福を注ぐことを約束しておられる。しかし、これは今後も神と共に歩み続けることに伴う祝福であり、もし神から離れてしまうならば、祝福は失われ、神殿もまた破壊され、民は滅亡するのである。

21-22節の会話はその後、現実となっていく。神とともに歩み続け、祝福を受け取り続けられるよう祈ろう!

2021/7/1(木)

II 歴代誌 8章

ソロモンは、20年かけて主の宮と自分の宮殿を建てあげた。更に平行して6節から分かるように、全領地に建てたいと切に願っていたものすべてを建てた。

ソロモンの時代のイスラエルはかなり広い領地を支配していて、勢力の凄さを知ることができる。しかし、これは結果として長続きはしなく、ソロモンの信仰面も崩れていった。7.8節にあるように、異国の民を苦役につかせていったのもソロモンの考え方のずれなのかも知れない。

神様に知恵を与えられたソロモンも晩年は良いとは言えない状態だったことが分かる。高ぶらず、神様の思いを熱心に求め続ける者となろう!

2021/7/2(金)

II 歴代誌 9:1-12

シェバの女王がソロモンを試そうとエルサレムにやって来ました。女王はそのすごさを実際に目の当たりにして、ソロモンのところにいるイスラエルの民を幸せであると語り、その上で女王は「主」をほめたたえた。それはソロモンが手にした全てのものは、主なる神が与えられたからという理由からだった。女王はイスラエルの幸いを見て、そこに偉大な神がおられることを意識したんだね。

僕らが計画したことや努力したことが成功することは大きな喜びだけど、そのことを通して他の人たちが、その背後におられる神様を見ることができたら、それこそ本当に嬉しいことだね。

何をすることも、神様の栄光が表されることを求めよう! 地の塩、世の光として、今日も出ていこう!!

2021/7/3(土)

II 歴代誌 9:13-31

今日はソロモンの人生の終わりと、王様として栄えた形が書かれているね。神様から知恵を与えられ、それによってとても栄えていたソロモン。イエス様も「あの栄華を極めた」と言うほど、高価なものがありすぎて銀が価値を失ってしまうほどソロモンの発展はすごいものだったね。

ただ、第一列王期の11章を読むと分かるけれど、ソロモンはその後、神様の言葉をないがしろにしてだんだん他の神様の方へ行ってしまうんだ。そして、ソロモンは財産どころか、国自体もバラバラにされてしまった。

私たちの心は、神様の声を求めているかな? 神様の心に従おうとしているかな? 立ち止まって考えてみよう!

2021/7/4(日)

II 歴代誌 10章

今日の箇所ではレハブアム王がイスラエルの民から父ソロモンの時に与えられた重い負担を軽減するように言われている。レハブアム王はそれを聞いて3日の猶予をもらい、父ソロモンに仕えていた長老たちと、自分に仕えている若者たちに返答をどうすればいいか聞いています。この時レハブアムはソロモンに仕えていた長老たちの助言を聞かず、自分に仕えている若者の助言を優先し、イスラエルの分裂に至る行動を起こしました。

これはレハブアム王が、神様によって権威を与えられた王として相応しく行動しなかったことによることとして書かれているね。

私たちが神様によって与えられた立場にふさわしい行動とはなんだろう? 勉強することかな? 聖書を読むことかな? お祈りすることかな? 考えてみましょう!